

ヨーロッパハウス

欧州連合(EU)の日本での拠点



駐日欧州連合代表部

I. ヨーロッパハウスの特徴



オフィス棟廊下

駐日欧州連合(EU)代表部の新しい拠点「ヨーロッパハウス」は、EUのモットー「多様性の中の統合(United in Diversity)」を形態として表現すると同時に、その特異なデザインを通じて「ヨーロッパの建築物を日本に持ち込む」という主旨を体現している。例として前面道路から見える住居棟の正面(ファサード)には、形の違うバルコニーや窓がランダムに配置され、全体として一体感のあるひとつの建物を作り出している。

とりわけ特徴的なのは、住居棟とオフィス棟という機能の異なる二棟のデザインの対比である。住居棟は、全体を時を経るごとに表情を変えるブロンズ銅板で、オフィス棟は自然発色を促進した緑青銅板で覆われている。両棟の間には、渦巻き状の水流をデザインモチーフとした中庭があり、職員や訪問客に憩いの場を提供している。

ヨーロッパハウスは、持続可能性(サステナビリティ)を重視した施設である。住居棟の屋上には太陽光発電パネルが設置され、最大18.3Kwの発電により施設内の省エネに寄与している。欧州基準の断熱材のほか、建物には、輻射冷暖房システム、光センサーによる照明制御、雨水の再利用装置など、さまざまな環境技術が採用されている。

新施設はまた、日本の最新耐震基準に適合した設計となっており、職員や住人の最大限の安全と業務継続性が確保されている。

II. ヨーロッパハウス・プロジェクト

駐日欧州委員会代表部(EU 代表部の前身)が東京の千代田区に代表部を開設したのは1974年11月であった。以来、関連施設(オフィス、大使公邸、職員宿舎)はすべて賃貸で賄われてきた。そのため、代表部事務所および大使公邸は幾たびかの移転を余儀なくされ、また、東京の相場の高い賃料を支払わなければならなかった。

欧州委員会は2003年に代表部施設の完全所有を最終目標とした、恒久的な解決策に向けた取り組みを開始し、2006年11月に東京都港区の国有地3,338m²を購入した。

用途を代表部施設の建設に限り、かつ購入後5年以内に建物を完成することを約束したことにより、時価より低い価格で土地を取得することができ、EU理事会、欧州理事会の承認を得ることもできたのである。

こうした経緯の下、代表部の事務所、大使公邸、職員宿舎、会議場、レセプションホール、駐車場などを擁す複合施設を建設するというプロジェクトが立ち上がった。

欧州委員会は、特定の条件を満たした会社またはコンソーシアムが出資するSPC(特別目的会社)が事業主体となってプロジェクトを遂行するという目的で、競争入札を実施することとした。このSPCは、施設建設にかかわる資金調達、設計・施工、そして建設後の維持管理を担う。



中庭

©TAISEI CORPORATION

入札手続きは 2007 年 6 月に開始された。同年 12 月から翌年 3 月にかけて、欧州委員会は、5 つの選定事業者と 3 度にわたるコンペティティブダイアログ(競争的対話)手続きを行い、その結果、4 社から応募・提案が寄せられた。

これを受けた評価手続きでは、価格、品質の両面で最も優れている提案が選ばれ、フランスの設計事務所 ADPI と協働してプロジェクトに取り組んだ大成建設株式会社が契約を受注した。



正面玄関内スペース

©TAISEI CORPORATION

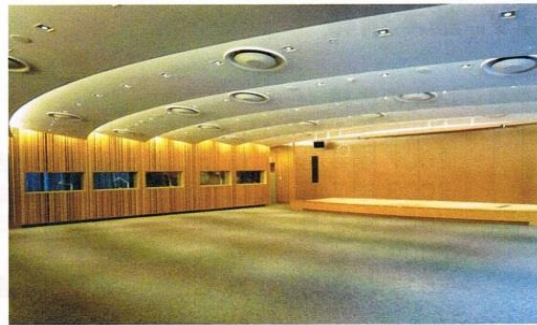
III. 5 つの機能別空間

1. オフィス

オフィス棟は、駐日 EU 大使、公使、その他の職員(現在約 50 人)の執務室および会議室からなる。ほとんどの部屋は、可動式の壁で広さを変更することができ、時が経つにつれ変化していく代表部のニーズに対応できるようになっている。



オフィス棟側面



会議場

©TAISEI CORPORATION

2. パブリックスペース

住居棟 1 階には、250 人を収容できる多機能の会議場があり、4 カ国語対応の同時通訳ブースも完備されている。また、レセプションホールやインフォメーションセンターも住居棟 1 階に配置されている。

3. 大使公邸

住居棟の最上階にある EU 大使公邸は、居住部分と接遇用スペースで構成される。

4. 職員住宅

外交官用に、広さの異なる 20 戸の住宅(111 ~186 m²)が用意されており、うち 1 戸は、車いす対応となっている。

5. その他

2 棟共通の地下には、48 台分の駐車スペース、20 のトランクルーム、テクニカルルームといった設備がある。



住居棟正面

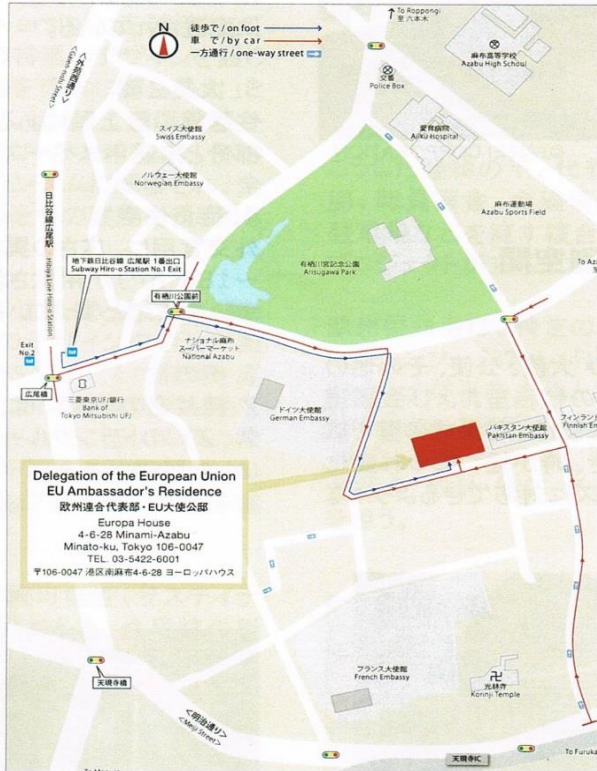
IV. 基本情報

プロジェクトの経緯

2006年11月15日	用地取得
2007年6月	入札手続き開始
2008年7月	EU理事会・欧州議会へ通知
2008年9月	事業者決定：大成建設
2009年6月	施工開始
2011年8月10日	建物引き渡し

面積等

敷地面積	3,337.50 m ²
建築面積	2,000 m ²
延床面積	10,562 m ²
住居棟（南側・前面道路）	地上6階・地下1階、幅84m・奥行き10m・高さ22m
オフィス棟（北側）	地上4階・地下1階、幅68m・奥行き13m・高さ15m



駐日欧州連合代表部

〒106-0047 東京都港区南麻布 4-6-28 ヨーロッパハウス

Tel: +03 5422 6001 Fax: 03-5420-5544

Eメール: Delegation-Japan@eeas.europa.eu

<http://www.euinjapan.jp/>